

市長定例記者会見 概要

- 日時：令和6年2月13日（火）午後1時30分から午後2時30分まで
- 場所：市庁舎3階 庁議室
- 相手方出席者：神奈川新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、東京新聞社、毎日新聞社
共同通信社、テレビ神奈川、タウンニュース社
- 市側出席者：市長桐ヶ谷覚、副市長柏村淳、経営企画部長仁科英子
経営企画部担当部長福本修司、総務部長三ツ森篤史、市民協働部長岩佐正朗
福祉部長石井聡、環境都市部長石井義久、環境都市部担当部長須田透
教育部長佐藤多佳子、教育部担当部長福井昌雄、消防長行谷英雄
- 陪席者：経営企画部参事米山裕昭、経営企画部財政課長伊達慎一郎
企画課担当課長（広聴広報担当）須田純子、広聴広報係花光美保
- 配付資料
 - ・令和6年逗子市議会第1回定例会の招集について
 - ・史跡長柄桜山古墳群第1号墳の整備が完了します
 - ・障がい者相談支援事業等にかかる消費税の取扱いについて

■内容：下記の通り

企画課担当課長（広聴広報担当）定刻になりましたので、令和5年度第4回定例の逗子市長記者会見を始めます。

市長）それでは、よろしく願いいたします。

○令和6年 逗子市議会 第1回定例会の招集について

本日、令和6年第1回市議会定例会の招集告示をいたしました。
案件は、お手元のプレスリリースにあるとおり、令和6年度の予算案をはじめ、27件の議案を予定しています。

○令和6年度 逗子市当初予算案について

続きまして、令和6年度の当初予算案について説明させていただきます。「令和6年度逗子市当初予算案の概要」をお手元にお配りいたしました。資料の1ページになります。

令和6年度当初予算は、一般会計が令和5年度に続き、過去最大規模となる229億8,600万円です。前年度比9億4,000万円4.3%の増加になります。増加要因は、前年度との比較で、人件費4億7,960万円、扶助費4億3,060万円の増加などです。

○市税収入の見込みについて

次に、歳入の中で市税収入の見込みについてご説明します。資料の3ページから5ページに記載がありますので、5ページをご覧ください。

市税全体では、前年度当初予算と比較して、1億9,041万円減の92億53万円を見込んでいます。

主な税目では、市民税の個人分は賃金の動向などを勘案し、前年比8,700万円、率にして1.8%の増加を見込んでいますが、定額減税の影響で、3億円の減が見込まれるため、合わせて2億1,300万円の減少を見込んでいます。固定資産税は、前年比2,158万円の増加を見込んでいます。

○財政調整基金の状況

財政調整基金の状況についてご説明します。

令和3年度末の残高は、23億7,063万円でした。令和4年度末の残高は、30億3,817万円でした。

令和5年度当初予算に財源調整のため7億8,000万円の取崩しを計上しており、今回定例会に提案する令和5年度補正予算において、前年度剰余金などを財政調整基金に積立てる金額として、16億687万円を計上することから、令和5年度末残高見込みは38億6,505万円となりました。令和6年度当初予算では、政策的経費の財源などとして、前年度取崩し額を2億1,000万円上回る9億9,000万円の取崩しを計上しています。

この先、JR東逗子駅前複合施設の整備や下水道施設の再整備による予算規模の増大時や退職金支払いによる取崩し額の変動を見越し、財政調整基金については適正な規模を確保できるよう、健全で安定的な財政運営を図っていきます。

○令和6年度の重点的な取組み

令和6年度に重点的に取り組む主な事業をお伝えします。資料をご覧ください。

○重点項目「子育てするなら逗子」について

若い世代の方に逗子を選んでいただくため、妊娠、出産、子育て、教育など、これらの環境を充実させます。そして、子どもたちが健やかで幸せに成長できる環境を整えていきます。

養育支援事業として、児童養育支援短期型入所事業（ショートステイ）、夜間養護事業（ト

ワイルドステイ)の実施に係る経費を計上しました。

ショートステイは、児童及びその家庭の福祉の向上を図るために保護者が疾病等により一時的に養育が困難になった場合、児童福祉施設において短期間の養育を行うものであり、トワイライトステイは保護者が仕事等の理由により平日の夜間又は休日に不在となる場合などに、児童福祉施設に児童を通所させ養護を行うものになります。

年間約 5 件程度想定しており、また、ショートステイについては最大 7 日の利用限度を見込んでいます。

支援教育充実事業については、令和 5 年度、沼間中学校をモデル校として、すべての子どもたちが「学校に行くことが楽しい」「人と関わることは悪くない」と感じられる学校づくりの一環として校内支援教室を整備し、専任指導員を配置しました。整備後、ほとんど登校できていなかった生徒が複数名、不規則な欠席や遅刻早退はあるものの、毎日のように登校しているということです。また、以前も登校はしていたものの、学校では笑顔がほとんど見られなかった生徒が、毎日のように笑顔を見せるようになったと聞き及んでおります。加えて、活動の幅が以前よりも広がっていることで、生徒の学びの質や量ともに高まっていることから、令和 6 年度から、中学校は 2 校、小学校は新たに 1 校をモデル校として整備します。

○重点項目「いくつになっても元気で安心なまち」について

成人等保健事業において、乳がん視触診検診を拡充します。一昨年から、市民が主催で開催している「ピンクリボンフェスティバル」というイベントにおいて、乳がんを経験された市民の方などの団体による「女性を守るマンモグラフィ検診会」が行われています。市としてもこれまで 40 歳以上の女性に対して行っていた乳がん検診の対象を令和 6 年度から拡充し、新たに 20 歳以上 39 歳以下の女性を対象とした乳がん視触診検診を実施します。

新たな地域交通の取り組みについては、今までもお伝えしているところですが、逗子市は、一部高台の住宅エリアを中心に、高齢者等の日常の買い物や通院などのための移動手段の確保が課題となっています。令和 5 年度は、新たな地域交通について各地先進事例を視察していましたが、いよいよ令和 6 年度は、地域の移動手段として期待している電動小型低速車「グリーンスローモビリティ」の実証実験をするための経費を計上しました。

○重点項目「地球環境を守り、安全なまち」について

防災・避難対応として、計画的に食料等の物資を備蓄し、災害用マンホールトイレ設置事業などを着実に行っていきます。それにまして、地域に根差した継続的で地道な防災活動を推進していきたいと考えています。

昨年、私も参加した久木小学校区の防災訓練は、「在宅避難者」を想定した取り組みを行っていました。一つは、安否確認の手段として、災害時に無事の場合は黄色のタオルを玄関先に掛けるというもので、黄色のタオルが掛けてあるお宅は無事ということになります。今回の安否確認訓練では、タオルを掛けていないお宅へは訓練確認・案内のため、訪問したそうです。

もう一つは、SNSを活用した「災害時ウェブアンケート訓練」です。グーグルフォームのアンケート機能を使い、家屋の状況や、電気・ガス・水道などのライフライン、不足している物資などの住民個人状況を把握する訓練をされていました。

このように、いざというときは、細やかな近隣住民の力、地域の力がとても大切なものと考えています。災害はいつ起こるかわかりません、市と地域が協働し、災害が起きても心配がない、取り残されることのないまちをめざして、防災事業を推進していきたいと考えています。

家庭系ごみ排出抑制推進事業として、2025年3月からの生ごみ分別収集の開始に係る経費などを計上しました。

2015年家庭ごみ処理の有料化を開始しましたが、新たに生ごみを燃やすごみから分別し、ごみの減量化・資源化を行うことにより、環境負荷の低減に大きく寄与していきます。収集した生ごみは、発酵・分解させ、堆肥にしたものの配布を考えております。

○重点項目「住み心地の良いまち」として

JR東逗子駅前に複合施設を整備する検討を行っています。令和5年度はワークショップ等の市民参加を実施し基本計画を策定、令和6年度には具体的な整備の基本設計を行っていきます。

その他、デジタル化の推進については、市民の皆様の利便性の向上のため、24時間いつでも振替口座の登録できるWeb口座振替受付サービスの開始や、現金以外の納付手段が拡大していることを受け、完全セルフの収納機の設置等をしていきます。

その他、プレスリリース2件とその他、何点か報告いたします。

○史跡長柄桜山古墳群第1号墳の整備について

長柄桜山古墳群第1号墳の整備についてのプレスリリースです。国の指定史跡である長柄桜山古墳群につきましては、葉山町と協力して、平成26年度から10年にわたって第1号墳の整備を行ってまいりましたが、いよいよこの3月で工事がほぼ終了します。4月20日（土）には葉山町とともに現地でオープニングセレモニーを開催し、正式な公開を開始する予定となりました。

現地は、全体に盛り土をした上にササを植えて、古墳が崩れないように保護するとともに、頂上には、木の棺（ひつぎ）が埋まっている場所を表示し、埴輪のレプリカや説明板も設置しています。そして一番のポイントは、古墳の頂上から逗子湾、その向こうに相模湾に浮かぶ江ノ島から富士山までもが一望できるようになったことです。ぜひ実際に古墳の上に立って、絶好のロケーションに造られた県内最大級の前方後円墳の壮大な姿を、からだ全体で感じていただきたいと思います。

来年度は、古墳を含む蘆花記念公園一帯の再整備の検討に着手する予定もございます。本市の魅力がより一層向上するよう努めてまいりたいと考えております。

なお、オープニングセレモニーについては、詳細が決まりましたらあらためてお知らせいたします。

○障がい者相談支援事業等にかかる消費税の取扱いについて

障がい者相談支援事業等にかかる消費税の取扱いについてのプレスリリースですが、令和5年10月4日付けの国からの事務連絡により、障がい者相談支援事業等については、消費税の課税対象事業であること、また、自治体が当該事業を民間事業者に委託する場合は、委託料に消費税相当額を加えた金額を受託者に支払う必要があることが示されました。

逗子市では、委託している2法人に対し、過年度（平成30年度から令和4年度）の委託料にかかる消費税及び延滞税相当額 13,386,000円（概算）を支払うための補正予算案を令和6年第1回定例会に提出しました。

○小坪わかめ収穫祭について

その他、報告として、3月3日（日）小坪漁港でわかめ収穫祭にて、特産の養殖わかめの販売が行われます。また、それに先立ち、今月20日（火）には、わかめ干し体験が開催されます。もう募集は終わっていますが、毎年多くの方からの申込をいただいているとのこと。

ここで一つ、地元の小学校の取り組みを紹介いたします。例年、小坪小学校5年生が小坪地域や小坪漁港の方々の協力をいただき、海に関する環境を学習する機会として、わかめの種付け・収穫体験を行っています。今年度は、12月18日に5年生と3年生が小坪漁港に出向き、見学や体験をしました。

わかめの種付け作業は、綱の撚り合わせた間に約50cm間隔で、わかめの先端を挟み、綱に巻き付けていく作業となります。5年生の子ども達は漁師さんたちのアドバイスを受けながら、一つひとつ綱に挟みこみました。その他、漁獲量の減っているアオリイカの産卵床の設置やアオリイカの生態の勉強なども行っています。

海に面している逗子ですので、子どもも大人も、このような取り組みを通して、海に関心を持ち、そして、地球環境など考えるきっかけになってほしいと思います。

○ずし呑み×ずし食べについて

お手元に、ずし呑みずし食べのパンフレットを配らせていただきました。今年度はコロナ禍があげ、満を持して、ずし呑み実行委員会により逗子全域を巻き込んだ飲食イベントが行われます。今週末までのイベントになりますので、ぜひお立ち寄りいただければと思います。

○米軍イケゴエレメンタリースクールと逗子小学校の親善交流について

最後に、米軍イケゴエレメンタリースクールとの親善交流をお伝えします。

2月28日に逗子小学校において、当小学校の2年生と池子住宅地区にある池子エレメンタリースクールの2・3年生が親善交流を行います。

昨年10月19日に池子エレメンタリースクールへ逗子小学校の児童が赴き交流を行いましたが、今回は逗子小学校に池子エレメンタリースクールの児童を招き交流を行う予定となっています。

以上になります。

企画課担当課長（広聴広報担当） それでは、質疑をいただきたいと思いますが、まずは、幹事社から質疑をお願いします。

記者） 予算中、県内で初めてのもの、珍しい取り組みがあれば。

市長) 県内初めては今のところないが、会計の自動収納機についてはあまり県内では取り組みがないかと思います。

記者) 公共交通拡充支援事業ですが、いつ頃、実証実験が行われますか。具体的なコースなど、具体的な内容が決まっていれば。

環境都市部長) 来年度から契約等準備をはじめますので時期としては秋頃、だいたい9月頃を予定しています。コースは、市内の高台の住宅団地を中心に考えていますが、機会を平等になるよう自治会等にお知らせしたうえで、希望を出していただき実施したいと考えています。

記者) 連携するような事業者は決まっていますか。

環境都市部長) 実績を踏まえ、グリーンスローモビリティの実績があるような企業などにご協力いただくということになるかと思います。

記者) それは、市内を回るといふより、例えば、買い物の拠点とか、駅とか結ぶ、そんな感じになるのでしょうか

環境都市部長) 実施する地域のニーズに応じてとなるとと思いますが、既存の、バス路線などと競合しないような路線設定で始めていくことになると思います。

記者) 養育支援事業の児童福祉施設とは、具体的にどのようなところを想定していますか。

教育部担当部長) 逗子市内にはありませんので、鎌倉市の児童福祉施設等をお願いすることを想定しています。その施設に今いる子の生活が乱れてしまわないよう、別に部屋をお借りする形でデイサービスなど実施していく予定です。

記者) JR 東逗子駅前複合施設整備事業はいつ頃使用開始になるのでしょうか。場所はどのあたりでしょうか。

経営企画部長) 場所は JR 東逗子駅前の、現在、放課後児童クラブがある場所ですが、国鉄

の清算事業団から、現在、土地開発公社が所有している土地があります。そこを活用し、市のいくつかの公共施設を複合、集約化し新しい公共施設を作っていく予定です。今年度基本計画を策定しているところです。令和6年度は基本設計、令和7年度は実施設計、令和8年度から施工、令和9年度中の使用開始を目指しています。複合、集約化する施設ですが、沼間コミュニティセンター、センター内の図書館分室、子育て支援センター、福祉会館、東部包括支援センター等です。

記者) 新年度の予算規模ですが、昨年の時点で3年連続過去最大だったのですが、今年は4年連続で最大になったということよろしいですか。また、予算の特徴を短く表す言葉、キャッチフレーズなどがあれば教えてください。

市長) 来年度の予算ですが、派手なものではなく伸びてきました。その代わり、安全かつ長期的に、財政運営していくことが非常に大事と考えています。将来的にはさまざまな拡大が見えている中、思い切ったものはできないのですが、教育関連にはしっかり配分していくべきと考えています。これを目玉というよりは、いろいろな施策をそれぞれ実証実験的に行い、その結果を確認しながらやるべきことを判断していくべきと。そういう意味では、今年重点的にやりました支援教室は、非常に効果があったので拡大し、堅実に展開すべきと考えます。また、ご高齢になられた方々もこの街に住んでよかったと思ってもらえるまちづくり、しっかり政策をとっていきたいと思っています。

記者) 財政状況の認識ですが、市長の一期目は、かなり歳出抑制で、新規事業も押さえていた形だったかと思いますが、今回は過去最大であり、新規も、かなり含まれているかと思うのですが、当時と比べて、今の財政状況に対する認識がどう変わっているのでしょうか。

市長) 財政規模として、非常に安定した状況にきていると感じます。危機からはある程度、一定、回復はしてきていると思いますが、逆に、過去にあれだけの危機に陥ったのかと考えますと、一般会計からの特別会計の繰り出し金が非常に多かった。国保、介護、下水道しかりです。例えば下水道にしても17年間値上げをしてこなかった、そのつけが財政のマイナスになっているわけですから、それを市民の方々にご理解いただいて、適正な価格に戻していくこういう地道な努力をしていくべきと考えます。

今後、大きくその危機に陥るようなことまではいかないのではないかと。それと、財政

にしる、つけるのは簡単ですけど、止めるのが大変です。その場合に、費用対効果がしっかり検証し、確約が持てる時に初めて大きく投入すべきでありまして、こうなればこうであろうという予測のもとに、大きな額の投資は、私、個人的には非常に慎重に行っていきたいと考えています。

記者) 小坪2丁目県有地ですが、取得に向けての調査費用が新年度予算に入っていると思うのですが、実際、今回の予算はどのような形ですか。スケジュールがありましたら教えてください。

環境都市部長) 予算概要の13ページ、(1)自然を大切にすまち、近隣公園整備事業がその予算になります。来年度、レッドゾーンの安全対策、調査費用などを含めた整備に係る費用を計上しています。市民参加手続き、市民説明、パブリックコメントなど手続きを経て、本格的な整備に係る費用を7年度当初予算に間に合うように準備を進める予定になっています。

記者) 予算の件ですが、今年度も子育てするなら逗子というところで、子育ての分野に非常に力を入れた編成であり、来年度も引き続きそういう予算編成だと思うのですがそのあたりと、また、市制70周年とのことですが、ナンバープレート作成や記念誌作成など、結構様々なイベントも控えているかと思いますが、市としてどう盛り上げていく感じでしょうか。

市長) 70年という数字が、ちょうどこう、通過点に当たるものですから、隣の葉山町は100周年、1年間かけて町を盛り上げていって町長がおっしゃっていますけど、逗子はそういう年ではないこともあって割と控えめになってます。それと、子育ての点では、昨年、県内真っ先に小児医療費の18歳までの制限を撤廃しました。かなり大きい数字が財政負担に出てきますので、あれもこれもということはなかなかできにくいのですが、なにより、子育てにはしっかり行政も向き合っている、皆さんからよかったと言ってもらえる声を聞いて、地道に進めていきたいと考えているところです。

記者) 来年度も、引き続き、子育てするなら逗子でというテーマとしては掲げてることよろしいですか。それでいくと、数字的には、児童手当支給拡大に9億1000万円ですとか、あと、特別支援補助教員の拡充など合わせて大きい金額かと思いますが、改めて

その予算編成に込めた思いを聞かせていただけますか。

市長) ご指摘、いいところを見ていただきまして。こちらとしてはかなり手厚くしたつもりでいます。目立つパフォーマンスが少ないですが、そういった意味では、子育て支援、学校が抱えてる様々課題、簡単に言うならば、学校の先生を元気にしようを合言葉、メッセージを出しております。市民の方に、市はちゃんと向き合っている、やる気があるのだということを理解いただけるよう、伝わっていけるよう努力をしていきたいと思えます。

記者) 70周年記念事業について、合わせていくらぐらい予算計上されていますか。

経営企画部長) 記念式典自体は約 160 万円ぐらいですが、すべてを合わせると概算で、約 600 万円規模になるかと思えます。

記者) 小坪 2 丁目県有地の予算についてですが、今まで活用方法を検討するとしか言っていなかったと思うのですが、正式に購入するとなると県へはなにか。

市長) 年度末までと期限を頂戴しているところですが、3月までには、しっかり伝えるに行こうと思っております。副知事に、時期を見て伺いたいと思えますが、まず予算を含めご審議いただいて、そのあとにお伺いできればと思っています。

記者) 今回の予算では、設計等の予算の計上と思えますが、市としては買い取るの決断しているということでしょうか。

市長) はい。

記者) 工事のスケジュール、着工時期などがありましたら教えてください。

環境都市部長) 7年度に購入するとしまして、来年度予算で予定しているのは、最終的な購入の意思決定するための整備計画案を具体的に作ります。それにどのくらい経費が掛かるかということ市民の皆さん、あるいは議会にお示しして、正式に7年度予算で購入ということになるかと。整備については、7年度取得してからになるかと考えています。

記者) 購入は決定しているのでしょうか。

環境都市部長) 市の方針として、今年度にも、一定の市民説明と市民の意見を聴取した中で近隣公園として活用するという方針を決めたということですが、整備に係る費用を令和7年度予算に提案して議決が得られ、正式にということになる。議決事項になるので、議会の議決があって初めて正式となります。手順を踏んでいくというところでご理解いただきたい。

市長) これに関しては、条件が2つありました。1つは、市民が反対された時、あと、1つは、予算案を議会に出してご承認いただけない場合、2つの条件のもとをやっておりました。ですので、今回の調査等の予算が、もし否決されれば、改めてその今後に対して検討しなければいけないということです。市の方針として、設計の予算が通っても、まだ、購入と言っはいけないとなりますね。取得に向けた準備に入ること。県に年度末には報告する感じですね。

記者) 小中校の給食についてなんですが、今、逗子市の給食は、どういう状況でしょうか。

教育部長) 小学校については、自校で調理をしています。中学校は、民間で調理されたものが食缶に入った状態で運ばれてきます。

記者) 子育てしやすいってことに関連してくると思いますが、県内、給食の無償化が増えてきていますが、予定がありますでしょうか。

市長) それに関して、今すぐ、そこが最大の課題でないと思っています。条件を整えれば考えられるにしろ、まず、今までボックスランチであった中学校給食を温かい食缶給食に変わったというのが大きな改善でありますので、無償化はまだ考えていません。

記者) やはり、実現には財源が大きいでしょうか

市長) そうですね。小児医療費も拡大し予算は倍以上を準備しました。もし、給食無償化ですと、すぐ、3億、4億という規模になろうかと思っています。無償化にしてから有償に戻すことはできないものですから、慎重に検討すべき課題と思います。

企画課担当課長（広聴広報担当）以上で本日の記者会見を終了します。どうもありがとうございました。